

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年3月7日 No.34

3・1ピキニデーでの確信力に、署名行動、非核日本宣言運動、被爆者援護連帯活動など、各地で行動がつよめられています。

「6・9行動」署名訴え 目標達成しことしも国連へ 一北海道

原水爆禁止北海道協議会は3月6日、札幌市中央区の繁華街で核兵器廃絶と被爆者援護を求めて、6・9行動を行いました。

岩淵尚道原水協事務局長は「すみやかな核兵器の廃絶を求める『すみやか』署名はあと1万人余で目標の15万人に達します。今年も国連に届けます」と署名への協力をよびかけました。「キッシンジャー元国務長官ら核政策の中枢にいた人たちが核兵器のない世界をと提言をしています。また大統領候補選挙でもオバマ候補が核廃絶を追及する発言をしています。アメリカ国内で変化が生まれています」と紹介

しました。

「かろうじて生き残った被爆者、被爆者手帳を持っている被爆者が自分の病気をあの原爆のせいと認めてほしいと提訴しています」と岩淵さん。「被爆者の願いは核兵器をなくす事。被爆時の距離や時間、病気の種類などで線引きし、被爆者を差別することは許せません」と訴えました。

風が冷たいなか、宣伝には、国民救援会道本部、中央区原水協、被爆の実態を伝える札幌青年の会が参加しました。

非核日本
宣言

賛同を倉敷市長・議長に申し入れ一岡山

現在開かれている倉敷市の3月議会で非核自治体宣言が採択される見通し(08.1.28の委員会で採択)をうけ、



水島原水協と県原水協は2月29日、連名で市長、議長に要請・申し入れをおこないました。要請には水島原水協から早川正樹氏(倉敷医療生協労組委員長)と日本共産党の小山・田辺市議が同行しました。市長宛の要請は西副市長が「市長に伝えます」としっかり受け取りました(写真)。平井弘明議長は「市議としてはすぐにでも署名したいが立場があるので考えさせてほしい」と要請書を受け取られました。「核兵器廃絶は党派を超えた国民的願いです。ぜひ賛同い

ただき県下の他の自治体への励みにしてほしい」と訴えました。

原水爆禁止運動草分けの孫と一緒に英平和行進

3月22日から英オルダーストン平和行進に参加する国分寺原水協・内田文子さんの3・1ピキニデー集会感想を紹介します。

今回オルダーストンの平和行進をする椎野綾さんと3月2日の原水協集会で舞台にあがりましたが、彼女のおばあちゃんとは杉並で署名運動を一緒にやりました。杉並の、日本の原水爆禁止運動の草分けの人でした。そのお孫さんとイギリスで平和行進をします。

3・1報告集をとりあえず15部買って運動を広めます。イギリスでは「原爆組写真」を30組、手渡してきます。



中央左が内田さん、右が椎野さん